



2027年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年10月29日
上場取引所 東

上場会社名 第一工業製薬株式会社
コード番号 4461 URL <https://www.dks-web.co.jp>
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）山路 直貴
問合せ先責任者 （役職名）代表取締役専務取締役 （氏名）清水 伸二 TEL 075-276-3027
半期報告書提出予定日 2026年11月10日 配当支払開始予定日 2026年12月8日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有

（百万円未満切捨て）

1. 2027年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2026年4月1日～2026年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年同期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期中間期	53,835	43.1	8,651	123.7	8,836	145.2	5,186	137.6
2026年3月期中間期	37,611	6.2	3,868	56.3	3,603	39.7	2,182	73.7

（注）包括利益 2027年3月期中間期 7,918百万円（122.4％） 2026年3月期中間期 3,561百万円（45.0％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期中間期	488.80	—
2026年3月期中間期	223.97	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2027年3月期中間期	123,338	64,383	46.9	5,445.00
2026年3月期	115,003	58,257	45.2	4,904.22

（参考）自己資本 2027年3月期中間期 57,785百万円 2026年3月期 52,039百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	60.00	—	90.00	150.00
2027年3月期	—	75.00			
2027年3月期（予想）			—	75.00	150.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
通期	百万円 97,000	% 17.0	百万円 12,500	% 23.7	百万円 12,600	% 21.5	百万円 7,700	% 24.8	円 銭 725.67

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

新規 — (社名) —、除外 — (社名) —

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2027年3月期中間期	10,684,321株	2026年3月期	10,684,321株
2027年3月期中間期	71,745株	2026年3月期	73,237株
2027年3月期中間期	10,611,731株	2026年3月期中間期	9,745,395株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（中間期）

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等の注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、物価上昇の影響がみられたものの、AI関連の需要や雇用・所得環境の改善などを背景に、緩やかな回復基調で推移しました。一方、資源・原材料価格の高止まりや地政学リスクに加え、各国の通商政策や金融資本市場の変動など、先行きには不透明感が残りました。

このような事業環境のもと、当社グループでは、ハイエンドサーバー向け低誘電樹脂材料の販売が好調に推移しました。国内外での生産能力増強に向けた設備投資を決定し、将来の需要拡大を見据えた供給体制の強化を進めています。

今後も、中期経営計画「SMART 2030」に基づくユニ・トップ戦略を着実に遂行し、さらなる収益性の向上に取り組んでまいります。

当中間連結会計期間の業績としましては、『電子・情報』セグメントのハイエンドサーバー向け低誘電樹脂材料が大幅に伸長したことにより、売上高は538億35百万円（前年同期比43.1%増）となりました。

損益面につきましては、『電子・情報』セグメントの売上高が伸長したことにより、営業利益は86億51百万円（前年同期比123.7%増）、経常利益は88億36百万円（前年同期比145.2%増）、親会社株主に帰属する中間純利益は51億86百万円（前年同期比137.6%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりです。

<電子・情報>

電子・情報セグメントの売上高は、総じて大幅に伸長しました。

ハイエンドサーバー向け低誘電樹脂材料は、国内・海外ともに大幅に伸長しました。ディスプレイ用途は、海外が大幅に伸長しましたが、国内は低調に推移しました。

その結果、当セグメントの売上高は211億35百万円（前年同期比51.2%増）となりました。

営業利益は、高付加価値品の売上高が伸長したことにより、47億67百万円（前年同期比70.6%増）となりました。

<環境・エネルギー>

環境・エネルギーセグメントの売上高は、総じて大幅に伸長しました。

太陽電池用途の高性能導電性ペーストは大幅に伸長しました。リチウムイオン電池用途の負極用水系複合接着剤及びモビリティ用途も大幅に伸長しました。

その結果、当セグメントの売上高は167億70百万円（前年同期比79.7%増）となりました。

営業利益は、高付加価値品の売上高が伸長したことにより、26億17百万円（前年同期比300.0%増）となりました。

<ライフ・ウェルネス>

ライフ・ウェルネスセグメントの売上高は、総じて堅調に推移しました。

食品用途のショ糖脂肪酸エステル、石鹼・洗剤用途、香粧品用途は堅調に推移しました。

その結果、当セグメントの売上高は69億82百万円（前年同期比1.2%増）となりました。

営業利益は、6億63百万円（前年同期比131.6%増）となりました。

<コア・マテリアル>

コア・マテリアルセグメントの売上高は、総じて大幅に伸長しました。

住宅建材用途の難燃剤、土木・建築用途は大幅に伸長しました。

その結果、当セグメントの売上高は89億47百万円（前年同期比20.8%増）となりました。

営業利益は、6億3百万円（前年同期比354.4%増）となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

(資産)

当中間連結会計期間末における流動資産は721億55百万円となり、前連結会計年度末に比べ27億73百万円増加しました。これは主に、現金及び預金が38億62百万円減少したものの、受取手形及び売掛金が14億28百万円、商品及び製品などの棚卸資産の合計が28億65百万円、有価証券が20億円増加したことなどによるものです。固定資産は511億82百万円となり、前連結会計年度末に比べ55億60百万円増加しました。これは主に、建設仮勘定が22億28百万円、投資有価証券が18億78百万円増加したことなどによるものです。

この結果、総資産は1,233億38百万円となり、前連結会計年度末に比べ83億34百万円増加しました。

(負債)

当中間連結会計期間末における流動負債は429億58百万円となり、前連結会計年度末に比べ33億95百万円増加しました。これは主に、リース債務(流動負債)が10億89百万円、未払法人税等が7億55百万円減少したものの、支払手形及び買掛金が16億62百万円、設備関係未払金などのその他(流動負債)が35億6百万円増加したことなどによるものです。固定負債は159億96百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億87百万円減少しました。これは主に、長期借入金が28億56百万円減少したことなどによるものです。

この結果、負債合計は589億54百万円となり、前連結会計年度末に比べ22億8百万円増加しました。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産合計は643億83百万円となり、前連結会計年度末に比べ61億25百万円増加しました。これは主に、親会社株主に帰属する中間純利益51億86百万円及び剰余金の配当9億54百万円により利益剰余金が42億31百万円増加したこと、その他有価証券評価差額金が12億81百万円増加したことなどによるものです。

この結果、自己資本比率は46.9%(前連結会計年度末は45.2%)となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末と比べて19億23百万円減少し、219億6百万円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

<営業活動によるキャッシュ・フロー>

営業活動の結果、得られた資金は61億19百万円(前年同期は29億28百万円)となりました。これは、棚卸資産の増加27億36百万円(前年同期は8億79百万円の増加)、法人税等の支払額22億17百万円(前年同期は7億97百万円)などにより資金が減少したことに対し、税金等調整前中間純利益87億34百万円(前年同期は35億30百万円)、減価償却費15億78百万円(前年同期は15億71百万円)などにより資金が増加したことによるものです。

<投資活動によるキャッシュ・フロー>

投資活動の結果、使用した資金は28億7百万円(前年同期は12億67百万円)となりました。これは、有形固定資産の取得による支出26億79百万円(前年同期は13億69百万円)などにより資金が減少したことによるものです。

<財務活動によるキャッシュ・フロー>

財務活動の結果、使用した資金は54億2百万円(前年同期は14億75百万円の収入)となりました。これは、長期借入金の返済29億47百万円(前年同期は32億45百万円)、リース債務の返済10億77百万円(前年同期は2億46百万円)、配当金の支払い9億54百万円(前年同期は5億26百万円)などにより資金が減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2026年7月29日付で公表いたしました通期の連結業績予想からの変更はありません。

なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当中間連結会計期間 (2026年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	24,031	20,169
受取手形及び売掛金	21,364	22,793
電子記録債権	2,180	2,260
有価証券	—	2,000
商品及び製品	13,008	13,787
仕掛品	20	16
原材料及び貯蔵品	5,695	7,785
前払費用	511	724
その他	2,579	2,626
貸倒引当金	△9	△8
流動資産合計	69,382	72,155
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	12,080	13,304
機械装置及び運搬具(純額)	5,662	6,802
工具、器具及び備品(純額)	1,331	1,491
土地	10,203	10,279
リース資産(純額)	1,364	301
建設仮勘定	2,686	4,914
有形固定資産合計	33,328	37,092
無形固定資産	268	256
投資その他の資産		
投資有価証券	8,598	10,476
長期貸付金	8	7
長期前払費用	405	316
繰延税金資産	91	98
退職給付に係る資産	2,554	2,541
その他	367	392
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	12,024	13,832
固定資産合計	45,621	51,182
資産合計	115,003	123,338

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当中間連結会計期間 (2026年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,358	17,021
電子記録債務	380	539
1年内償還予定の社債	6,000	6,000
短期借入金	7,230	7,612
リース債務	1,240	150
未払費用	458	447
未払法人税等	2,403	1,647
未払事業所税	44	22
賞与引当金	2,009	1,574
その他	4,436	7,942
流動負債合計	39,562	42,958
固定負債		
長期借入金	14,431	11,575
リース債務	243	214
繰延税金負債	2,069	3,319
退職給付に係る負債	72	71
資産除去債務	74	524
その他	291	290
固定負債合計	17,183	15,996
負債合計	56,746	58,954
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,895	8,895
資本剰余金	10,315	10,334
利益剰余金	26,583	30,815
自己株式	△162	△159
株主資本合計	45,631	49,885
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,770	5,052
為替換算調整勘定	1,636	1,909
退職給付に係る調整累計額	1,000	937
その他の包括利益累計額合計	6,407	7,899
非支配株主持分	6,218	6,598
純資産合計	58,257	64,383
負債純資産合計	115,003	123,338

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年9月30日)
売上高	37,611	53,835
売上原価	26,956	37,033
売上総利益	10,654	16,802
販売費及び一般管理費	6,786	8,151
営業利益	3,868	8,651
営業外収益		
受取利息	26	40
受取配当金	90	154
持分法による投資利益	21	19
為替差益	—	137
その他	88	130
営業外収益合計	226	481
営業外費用		
支払利息	125	144
社債利息	18	18
為替差損	285	—
その他	62	133
営業外費用合計	491	296
経常利益	3,603	8,836
特別損失		
固定資産処分損	72	102
特別損失合計	72	102
税金等調整前中間純利益	3,530	8,734
法人税、住民税及び事業税	1,086	1,740
法人税等調整額	△109	690
法人税等合計	977	2,431
中間純利益	2,553	6,303
非支配株主に帰属する中間純利益	370	1,116
親会社株主に帰属する中間純利益	2,182	5,186

(中間連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年9月30日)
中間純利益	2,553	6,303
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	957	1,281
為替換算調整勘定	134	394
退職給付に係る調整額	△22	△63
持分法適用会社に対する持分相当額	△62	1
その他の包括利益合計	1,007	1,614
中間包括利益	3,561	7,918
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	3,081	6,678
非支配株主に係る中間包括利益	479	1,239

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	3,530	8,734
減価償却費	1,571	1,578
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1	△1
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△36	△84
受取利息及び受取配当金	△116	△194
支払利息	125	144
社債利息	18	18
持分法による投資損益(△は益)	△21	△19
固定資産処分損	72	102
売上債権の増減額(△は増加)	829	△1,311
棚卸資産の増減額(△は増加)	△879	△2,736
仕入債務の増減額(△は減少)	△306	1,783
その他	△1,034	254
小計	3,751	8,267
利息及び配当金の受取額	118	233
利息の支払額	△144	△163
法人税等の支払額	△797	△2,217
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,928	6,119
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△81	△254
定期預金の払戻による収入	81	208
有形固定資産の取得による支出	△1,369	△2,679
投資有価証券の取得による支出	△1	△1
その他	103	△80
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,267	△2,807
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,081	439
長期借入金の返済による支出	△3,245	△2,947
リース債務の返済による支出	△246	△1,077
自己株式の取得による支出	△0	△1
配当金の支払額	△526	△954
自己株式の処分による収入	5,151	—
非支配株主への配当金の支払額	△738	△859
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,475	△5,402
現金及び現金同等物に係る換算差額	△106	165
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	3,030	△1,923
現金及び現金同等物の期首残高	16,556	23,830
現金及び現金同等物の中間期末残高	19,586	21,906

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	電子・情報	環境・エネルギー	ライフ・ウェルネス	コア・マテリアル	合計
売上高					
顧客との契約から生じる収益	13,976	9,331	6,896	7,406	37,611
外部顧客への売上高	13,976	9,331	6,896	7,406	37,611
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	13,976	9,331	6,896	7,406	37,611
セグメント利益(営業利益)	2,794	654	286	132	3,868

(注) 報告セグメント利益の合計金額と中間連結損益計算書の営業利益は一致しています。

II 当中間連結会計期間(自 2026年4月1日 至 2026年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	電子・情報	環境・エネルギー	ライフ・ウェルネス	コア・マテリアル	合計
売上高					
顧客との契約から生じる収益	21,135	16,770	6,982	8,947	53,835
外部顧客への売上高	21,135	16,770	6,982	8,947	53,835
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	21,135	16,770	6,982	8,947	53,835
セグメント利益(営業利益)	4,767	2,617	663	603	8,651

(注) 報告セグメント利益の合計金額と中間連結損益計算書の営業利益は一致しています。